

全力結集で挑戦し、
未来を創る

令和2年度の挑戦

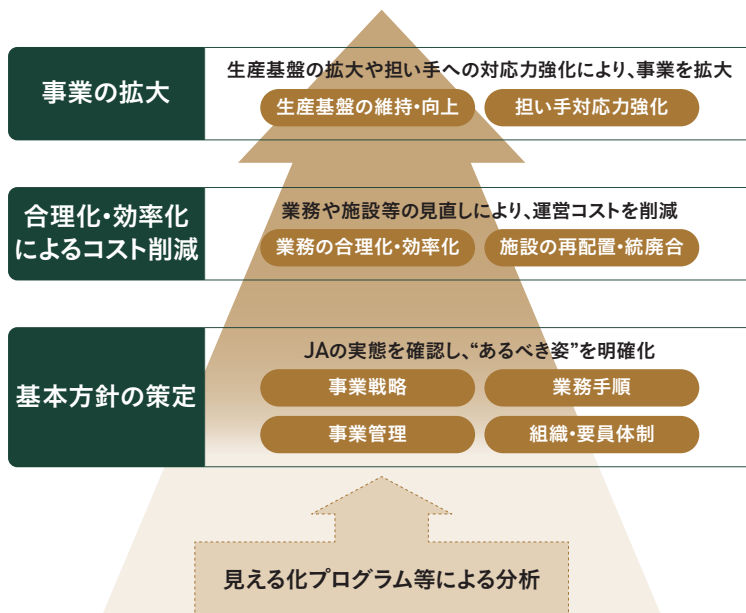
JAへの支援を強化する

JA全農は3か年計画(令和元～3年度)において5つの最重点事業施策を策定しました。全農の5年後、10年後を見据えた取り組みを5回シリーズで紹介しました。

JA支援と県域JAへの対応

多様化する担い手ニーズへの対応

- JA経済事業の部門別・場所別収支分析をふまえた、「経済事業強化メニュー」の提案と実践を行っている
- 農林中央金庫や信連等と連携して、「見える化プログラム(外部コンサルを活用したJA経済事業の事業・収支分析にもとづく改善提案手法)」の導入や改善提案を推進している
- 県域JAが取り組む営農・経済事業改革プロジェクト等へ参画し、改善計画の策定や実践を支援している



農業者とJAの多様なニーズへの対応強化

優良事例の全国展開を支援

- 農家手取り最大化のために「トータル生産コスト低減の取り組み」*を通じて農業者の所得向上を目指している
- TAC(地域農業の担い手に向くJA担当者)活動のレベルアップに向け、新たな支援策と研修を導入
- JAグループの職員を対象に、営農や資材などに関する部門別の講習会を開催している

※トータル生産コスト低減の取り組みメニュー



<https://www.zennoh.or.jp/about/future/productionpromotion/costs/>

物財費削減、労働費低減、生産性向上に関するメニューを掲載



栽培技術の知識習得に向けた講習



営農支援の人材育成に向けた講習